

地域と共に生きる (有限会社 北rais)

<法人の概要>

所在地：高知県香南市野市町土居

設 立：平成15年4月

資本金：300万円 売上高：1億8千万円

構成員（議決権）：農業従事者4名（100%）

役 員：2名（うち農作業従事2名）

従業員数：常時雇用者4名、臨時雇用者20名

経営面積：30.6ha（うち所有0.6ha、借入30ha）

作付作物：水稻27ha、甘藷3.6ha、作業受託170ha



事務所（左下）及び米乾燥機16台
を収納するライスセンター（全体）



育苗されたコシヒカリの苗

<営農を開始するまでの状況>

江戸時代から続く農家で、昭和40年ごろは水稻・タバコ・キュウリの複合経営を行っていたが、昭和46年にコンバインを導入した。そのころから稲刈り作業受託を始めたが、これが口コミで広がり作業受託が増え、平成7年にライスセンターを建設した。

長男の「後を継ぐ」との意思表示や、平成15年に次男も就農したことから長男・次男の福利厚生制度の充実や優秀な人材確保等を目的に法人化した。

<特徴的な取組>

環境に配慮した農業経営を心がけ、稲の種子消毒はすべて温湯消毒している。

また、もみ殻からくん炭を製造し育苗培土として活用したり、園芸農家の堆肥として供給することで循環型農業を実践している。

乾燥調製作業は、地域の農業者の要望に応えコストを度外視し、他者の米と混ぜずに1農家1乾燥機制を採用している。

米のブランド化を図り「よさこい舞」の商標登録を行い、販売を行っている。

地域では、農地の遊休化を防ぐ最後の「駆け込み寺」的存在で、農地の受け手として農業委員会など関係機関からの信頼も厚く、経営面積・作業受託面積は年々増加している。

中小企業退職金共済制度に加入し、従業員への福利厚生を充実し、意欲とやる気を引き出している。

<今後の農業経営の展開方向>

3人の息子が就農している豊富な若い労働力を生かして、今後高齢化や離農等により地域内から加速的に増えると予想される借地希望農地を集約し、規模拡大を進めていきたい。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>

個人経営と法人経営のコスト（社会保険料等）の違いを十分に把握し、事前に会計や資金繰り等のシミュレーションを行い、準備と心構えをした上で法人化に取り組んでみてはいかがでしょうか。



商標登録した「よさこい舞」



13台の米乾燥機（一部）